

法藏館書店ニュース 11月

目次

話題の本 P1
法藏館新刊案内 P2~4
法藏館重版案内 P4~5
法藏館刊行予定案内 P5~6
法藏館書店新着案内 P6~19

特集1:報恩講にむけて P20~21
特集2:親鸞聖人のご生涯 P22
お知らせ P23
法藏館書店ベスト10・メール配信サービスご案内 P24

★お知らせ★ 11、12月の書店休業日

11月のお休み:5日・12日・19日 ※26(日)は営業いたします。

12月のお休み:3日・10日・17日・24日 年末年始のお休み:
30日(土)~1/4日(木)まで。

話題の本

●奈良新聞(2023/10/8)

『唯識—これだけは知りたい』

加藤朝胤監修 船山 徹・石垣明貴紀著
四六判・336頁・1,650円
ISBN:978-4-8318-7771-0

●中国新聞(2023/10/8)

●秋田魁新報・中日新聞・岐阜新聞(2023/9/24)

●京都新聞(2023/9/16)ほか多数。

『お地蔵さんと日本人』

清水邦彦著・四六判・214頁・1,980円 **2刷**
ISBN:978-4-8318-6273-0

●中外日報(2023/10/16)

『中世神祇講式の文化史』

星 優也著・A5判・320頁・6,600円
ISBN:978-4-8318-6274-7

●佛教タイムス(2023/10/5)

『近代日本の国家と浄土真宗』

一戦争・ナショナリズム・ジェンダー』
福島栄寿著・A5判・294頁・4,180円 **2刷**
ISBN:978-4-8318-5569-5

●中部経済新聞(2023/10/3)

『創価学会—政治宗教の成功と隘路』

櫻井義秀・猪瀬優理編・四六判・336頁・2,530円
ISBN:978-4-8318-7765-9

●日本歴史 10月号(2023/10/1)

『近代仏教教団と戦争』

一日清・日露戦争期を中心に』
小林惇道著・A5判・492頁・7,150円
ISBN:978-4-8318-5568-8

●中外日報(2023/9/29)

『唯識説の深層心理とことば』

—『摂大乗論』に基づいて』
小谷信千代著・四六判・320頁・4,180円
ISBN:978-4-8318-7096-4

●週刊 読書人(2023/9/29)

『近代日本の思想変動と』

浄土真宗—教化・連帯・転向』

佐々木政文著・A5判・418頁・7,150円
ISBN:978-4-8318-5579-4

●中外日報(2023/9/13)

『住職必携—真宗大谷派儀式作法』

大谷制以知著・A5判・224頁・2,860円
ISBN:978-4-8318-8785-6

●宗教研究 第40号(2023/9/8)

【日本仏教史研究叢書】

『釈雲照と戒律の近代』

龜山光明著・四六判・322頁・3,850円
ISBN:978-4-8318-6045-3

●美術新聞(2023/9/5)

『文物に現れた
北朝隋唐の仏教』

礪波 護著・文庫判・416頁・1,320円
ISBN:978-4-8318-2644-2

法藏館文庫

くす
◆ブッダの奇しき事跡 上
——梵文根本説一切有部律破僧事 全訳

【仏教】

平岡 聡著・A5判・346頁・7,700円・ISBN:978-4-8318-2481-3

梵文「根本説一切有部律破僧事」世界初の全訳！ 説一切有部が律蔵中に保持した壮大かつ詳細な仏伝。多くの説話が豊かに情感を添える。

■目次

はじめに

凡例

略号表

第1章 シャーキャ族の起源

第2章 降誕

第3章 幼少期

第4章 出家修行 ほか

ためし読み



◆戒のある暮らし
——仏教の自分貢献マニュアル

【仏教】

齊藤隆信著・A5判・200頁・2,200円・ISBN:978-4-8318-2461-5

仏教の戒は仏道の基盤であり、日常生活の手本となる教え。転ばぬ先の杖として暮らしを支えてくれる戒を知り、実践するための入門書。

■目次

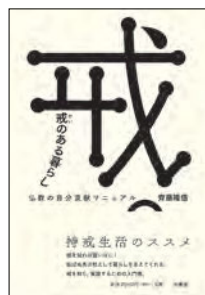
はしがき

第一章 仏教と戒

第二章 三聚淨戒

第三章 戒を受ける・戒を持つ

ためし読み



◆古墳と壁画の考古学
——キトラ・高松塚古墳

【考古学／古代史】

泉 武・長谷川 透著・四六判・234頁・2,200円・ISBN:978-4-8318-7769-7

日本でわずか二例しか確認されていない壁画古墳。それは誰がどのような技術で製作したのか。考古学調査を踏まえ、両古墳の古墳築造と石室壁画の製作の具体像に迫る。

■目次

口 絵

プロローグ

第1章 西飛鳥の古墳とキトラ・高松塚古墳

第2章 キトラ・高松塚古墳の築造技術

第3章 壁画の制作と技術

第4章 キトラ・高松塚古墳の被葬者像

エピローグ——本書のまとめ

ためし読み



◆ためさるる日——井上正子日記1918-1922

【文学／日記】

井上正子著、井上 迅編・四六判・464頁・3,080円・ISBN:978-4-8318-7759-8

米騒動、スペイン風邪も今日の出来事だ。京都の町寺に育った百年前の女学生の日記。磯田道史、小林エリカ、藤原辰史の三氏が寄稿。

■目次

日記Ⅰ～Ⅵ

コラム

正子のことなど 『井上正子日記』を読む人に

「正子日記」の背景 正子をめぐる人物地図 [井上迅]

正子さんの日記と夏の日と [小林エリカ]

『井上正子日記』について [磯田道史]

正子日記の研究 [藤原辰史] ほか

ためし読み



法蔵館重版案内

◆ブータンと幸福論——宗教文化と儀礼

7刷 【文化人類学】

本林靖久著・四六判・190頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-5680-7

国民総幸福を国是とするブータンの、死をふくむ宗教文化に着目し、幸福論を問い直す注目の書。

■目次

まえがき

序章

第1章 私の幸福なる体験—仏教文化との出会い

第2章 育まれてきた幸福—民族と歴史

第3章 「国家の幸福」と「個人の幸福」—国の政策とGNH

第4章 「踊る幸福」と「見る幸福」—宗教世界観と祭礼

第5章 死を含む幸福—日本との比較から ほか



◆生きものたちと仏教のはなし

2刷 【仏教】

華園真慶著・四六判・112頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-2460-8

生きものたちの生と死に向き合い、気づかされた「生きるいのち」の世界。獣医学を学んだからこそ語ることができる、みずみずしく新しい仏教のはなし。

■目次

はじめに

[いのちに学ぶ]

[いのち・科学、そして仏教]

エントロピー増大の法則

生死一如のプログラム

故郷への道しるべ ほか



◆新装版 口語訳 教行信証 附領解

2刷 【仏教／真宗】

金子大榮著・四六判・542頁・2,970円・ISBN:978-4-8318-6578-6

親鸞の主著で浄土真宗の根本聖典『教行信証』。難解な漢文を現代語に訳して親鸞の思想を再現し、領解では著者の信仰を語る。

■目次

總序

教の巻

大意

出世の正意

結釈

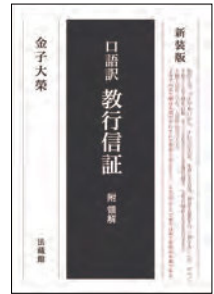
行の巻

大意

経説(本願と成就)

結釈

相承の師釈 ほか



◆新装版 正信偈入門

2刷 【仏教】

早島鏡正著・四六判・171頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-6569-4

親鸞が著した浄土真宗の精髓である「正信念仏偈」について、その肝要を解り易く説く。現代語訳と詳細な語註を付した入門書。

■目次

I 「正信念仏偈」「念仏を正信する(人びとをたたえる)偈」

一 依経段

二 依釈段

II 親鸞の世界

一 「真実」の世界

二 「正信念仏偈」とは

三 仏智に生きる

四 信心によるさとり ほか



法蔵館刊行予定案内

〈2023年12月 刊行予定〉

◆ひとりふたり・・——お正月を迎える

四衢 亮編・A5判・24頁・136円・ISBN:978-4-8318-1169-1

【仏教／真宗】

身近なことから真宗の教えにふれる聞法誌。人気連載多数で、わかりやすく面白、参考になる、気軽に読める、と好評です！

◆新・願正寺正鑑——先達の願いに生きん

願正寺編・A5判・予720頁・価格未定・ISBN:978-4-8318-7934-9

【真宗／歴史】

教義解釈を巡り住職追放・取り潰しまでに到った「願生寺安心事件」。住職・門徒たちの、いのちをかけた信仰が現代に問いかける。

◆疾駆する馬上の龍樹——空という理と思考の理

槻木 裕著・四六判・271頁・2,750円・ISBN:978-4-8318-8798-6

【仏教／比較思想】

分析哲学の視点から、空思想の従来の弁証法的解釈を斥け、龍樹はことばに跨って戦いながら、言語思考の広野を疾駆したことを考察。

◆宮沢賢治の仏教思想——信仰・理想・家族

牧野 静著・四六判・250頁・3,300円・ISBN:978-4-8318-5581-7

【仏教／文学】

他者との交錯のさま、そしてそれらを通じて紡がれた一連の作品群から、賢治の仏教思想とそのバックボーンを解明。近代の中で悩み続ける「人間・宮沢賢治」の本質を抉り出す。

◆宗教を問う、宗教は問う——コルモスの歴史と現代

氣多雅子・島菌 進・金澤 豊・小林 敬編・四六判・384頁・2,200円

【宗教／社会】

ISBN:978-4-8318-7774-1

現代社会の諸問題に対して、宗教は何をなしうるのか。諸宗教・諸宗派の垣根をこえて対話し、宗教の可能性を展く。現代における宗教の役割研究会、半世紀の足跡。

法蔵館書店新着案内

◆宗教哲学と真宗民俗学

——真宗信仰の諸相

和田俊昭著・A5判・420頁・11,550円〈永田文昌堂〉

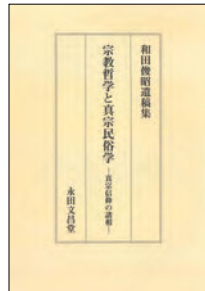
ヨーロッパ思想をあつかった初期の論文から、浄土真宗における開山信仰についての論文、儀礼と真宗文化論・民俗論を中心にした晩年の論文など全十九本を収録。著者の研究を凝縮した力作ぞろいの遺稿集。

■目次

第一部 哲学と宗教

第二部 開山とカリスマ

第三部 儀礼と民俗



◆釈尊のご生涯をたずねて

——「仏さま」の実像とその教え

森 政弘編著・四六判・571頁・2,970円〈佼成出版社〉

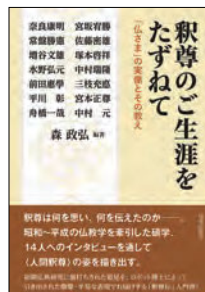
釈尊は何を思い、何を伝えたのか。ロボット工学の第一人者が、昭和～平成の仏教学を牽引した碩学14人へインタビュー。〈人間釈尊〉の姿を描き出す。『躍進』の連載を書籍化。

■目次

第1話 釈尊が誕生された釈迦国と当時のインド社会

第2話 釈迦国の王子としての生活と青春時代の苦悩

第3話 約束された王位を捨てる出家の決意 ほか



読みなおす日本史

◆親鸞——煩惱具足のほとけ

笠原一男著・四六判・246頁・2,420円(吉川弘文館)

鎌倉時代、阿弥陀仏への信心のもと、念仏一つで個人も社会もすべてが救われると説いた親鸞。激動の世でいかに行動し、どう思索して生きたのか。当時の社会を背景に、煩惱に苦しむ人びとへ全生涯をささげた姿を描く。

■目次

はしがき

I 激動の世と親鸞

II 叡山の親鸞

III 巷に生きる親鸞

IV 越後の親鸞

V 関東の親鸞

VI 念仏の発展と親鸞の帰洛

VII 再び京都の親鸞



◆内奥への旅——親鸞聖人の「二河白道」観

羽田信生著・四六判・153頁・2,200円(方丈堂出版)

仏教の譬喩で有名な善導(中国・唐)の「二河白道」のたとえは、親鸞聖人も引用して解説する重要な教えである。これは仏教の確信を誰にでもわかるように極めて簡単なたとえとして表現されている。

■目次

まえがき

序「内省の教え」としての仏教

I 此岸(仏教以前)の危機

II 仏道における危機

III 親鸞聖人の「二河白道」観

【資料】

あとがき



◆親鸞——尊厳・平等の念仏

芳滝智仁・武田達城著・A5判・92頁・1,100円(阿吽社)

親鸞の念仏は本願寺ではなく、勅命講和に反対した「末々の門徒」から被差別部落の門徒に受け継がれ、西光万吉に代表される水平社の人々に昇華された。親鸞の念仏と被差別部落起源論などを考察する問題提起の書。

■目次

はじめに……………武田達城

親鸞の念仏と被差別部落起源論……………芳滝智仁

「一向一揆起源論」とその論理構造……………小笠原正仁

石山本願寺合戦と部落の成立……………石尾芳久

あとがき……………神戸 修



◆雑賀孫一郎と教如——本願寺東西分派

宝照 侑著・四六判・238頁・1,430円〈都朋社〉

織田殿と争い、顕如様に破門に処せられた。豊臣殿からは隠退に追い込まれた。弟の准如は、徳川殿に警戒をしておる。拙僧は、ただ真宗の「御法」を守らんがために、動いておるだけじゃー。東本願寺創立にいたる経如の物語。

■目次

- 第1章 宗門義絶、紀伊雑賀
- 第2章 諸国秘回、近江～美濃郡上八幡
- 第3章 諸国秘回、越中～三河
- 第4章 親子和解 ほか



NHK宗教の時間

◆鈴木大拙願行に生きる（下）

——その生涯と西田幾多郎との交遊

竹村牧男著・A5判・140頁・1,080円〈NHK出版〉

鈴木大拙のことばと思想に触れ、人生のよすがとなるべきものを見出していくための入門講座。下巻ではその思想への分け入り方を解りやすく示す。修行を意味する仏教用語「願行（がんぎょう）」。「日米で、世界で、生涯を願行に捧げた鈴木大拙の思想に迫る講座。大拙の哲学と人生には、求道の友というべき哲学者・西田幾多郎の存在が常にあった。下巻は、西田との交流にも触れる一冊。

■目次

- 第7回 日本的靈性について——絶対無条件の大悲に包まれて
- 第8回 日本禅宗史への視点——盤珪禅への敬慕
- 第9回 大拙の禅思想 I ——「即非の論理」と「超個の個」
- 第10回 大拙の禅思想 II ——ただはたらいてやまない境涯 ほか



◆山下義信と童心寺

新田光子著・A5判・47頁・660円〈永田文昌堂〉

広島戦災児育成所の運営と参議院議員としての政治活動、また童心寺住職として、本願寺派布教師としての山下義信師の活動を、戦後七〇年にわたる童心寺の略史としてまとめる。

■目次

- はじめに
- 堂心寺の歴史
- 山下義信住職の童心寺
- 熊谷純行住職代務の時期
- おわりに



◆増補新版 泥の菩薩——仏教NGOの開拓者、有馬実成

大菅俊幸著・四六判・362頁・2,750円(明石書店)

美しき蓮の花よりも、その花を咲かせる泥になりたい。日本のNGOの先駆者として道なき道を歩み、死の間際まで命を燃やし続けた僧侶が見つめていた世界とは。自ら泥となり、先陣を切り、人々と生きた有馬実成の生涯を描く。

■目次

- 序 章 けものみちを歩いた人
- 第一章 発露——生い立ち
- 第二章 起動——民衆と共に歩む宗教者として
- 第三章 飛翔——国際NGOへの挑戦
- 第四章 菩薩——有馬の仏教観 ほか



◆舍利弗の物語——阿弥陀経の黙った主役

大窪康充著・四六判・80頁・1,100円(京都月出版)

お釈迦さまは弟子の舍利弗の名を呼びながら語りかけますが、舍利弗は黙ったまま……。仏になれないはずの舍利弗が、どのような経緯をへて念仏往生の成仏道を歩みだしたのか、「阿弥陀経」の内容を中心に解説します。

■目次

- 刊行にあたって
- はじめに
- I 『阿弥陀経』の概要 ——舍利弗への一方的な呼びかけ—
- II 声聞であり智慧第一と称される舍利弗
- III 思い込みというこころの闇が破られる舍利弗 ほか



伝道ブックス89

◆命終——亡き人のゆくえ

蒲池勢至著・新書判・48頁・330円(東本願寺出版)

妻の命終をきっかけに、亡き人のゆくえを問い求めてきた著者の葛藤を克明に語る一冊。愛しさと悲しみのつの中、中陰や毎日のお勤め、民俗学者として出会う伝承の言葉をとおして、「南無阿弥陀仏」の声の中に亡き人と出遇ってゆける、という思いに至るまでの心の変遷をつづる。

■目次

- はじめに
- 永遠の問題
- お盆という行事
- 介護の日々と妻の死
- どうすることもできなかったという思い ほか



◆成尋

水口幹記著・四六判・283頁・2,420円(吉川弘文館)

平安中期の天台僧・成尋は、60歳で渡宋を決意し、聖地巡礼を果たす。渡航日記「参天台五臺山記」から現地での生活や皇帝との謁見、祈雨修法、新訳経の収集など入宋後の足跡を読み解き、宋で生涯を終えた巡礼僧の実像に迫る。

■目次

はしがき
誕生と家族
天台僧成尋
入宋を志す
入宋、天台山巡礼と皇帝との謁見 ほか



インド哲学教室③

◆インドの存在論・認識論・因果論哲学

——「私」、そして「世界」とは何か

宮元啓一著・四六判・201頁・2,200円(花伝社)

「私」を「私」たらしめるものとは何か？ この世界を、私たちはどのように認識しているのか？ 西洋哲学との対比を交えつつ、古代から連綿と続くインド哲学の営みを丁寧に順序だてながら対話形式で解説する。

■目次

I 存在論と認識論
II 認識論
III 因果論
IV 流出論的存在論哲学
V 新造論的存在論哲学



◆ガンディーの真実——非暴力思想とは何か

間 永次郎著・新書判・278頁・1,034円(筑摩書房)

贅沢な食、搾取によってつくられた服、宗教対立、そして植民地支配。西洋文明が生み出すあらゆる暴力に抗う思想・実践としての「非暴力」に迫る。

■目次

第一章 集団的不服従——日常実践の意義
第二章 食の真実——味覚の脱植民地化
第三章 衣服の真実——本当の美しさを求めて
第四章 性の真実——カリスマ性の根源
第五章 宗教の真実——善意が悪になる時 ほか



◆ヴィパッサナー瞑想 図解実践

——自分を変える気づきの瞑想法【決定版】

アルボムッレ・スマナサーラ著・四六変判・293頁・1,760円〈サンガ新社〉

誰でも簡単に実践できて、ストレスやトラブルに負けない「心の力」が育つ! ブッダが悟りを開いた瞑想法をわかりやすく解説。日常生活を瞑想に変える「実況中継レッスン」も掲載する。

■目次

- 第1部 瞑想の力——心が育つと人生はうまくいく
- 第2部 苦しみの原因——なぜ、心は悩むのか?
- 第3部 慈悲の瞑想——今からすぐに幸せになれるやさしさの瞑想法
- 第4部 実況中継レッスン——生活の中で実践するヴィパッサナー瞑想〔入門編〕
- 第5部 ヴィパッサナー瞑想——悟りへ向かう3つの瞑想 ほか



ちくま新書1747

◆大還暦——人生に年齢の「壁」はない

島田裕巳著・新書判・237頁・968円〈筑摩書房〉

長い老後をどう生きて、どう死んでいくのか。それを考える上で、「宗教」は役に立つのか。宗教学者が、日本人の死に方、生き方、宗教の衰退について、そして、最期まで充実して楽しく過ごす秘訣を考える。

■目次

はじめに

- 第一章 根本から死生観が変わった
- 第二章 誰もが仏になれる
- 第三章 「墓ブーム」は終わった
- 第四章 葬式は、要らない ほか



◆聞き取り もうひとつの隔離

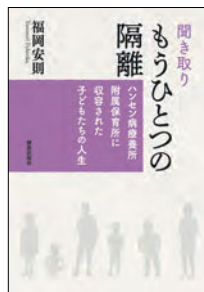
——ハンセン病療養所附属保育所に収容された子どもたちの人生

福岡安則著・四六判・326頁・3,300円〈解放出版社〉

ハンセン病問題に長年とりくんできた社会学者が、療養所附属保育所で育った人たちを中心にハンセン病罹患者の家族から丁寧に聞き取った苦悩の半生を、語り口を生かして記録。

■目次

- 第1部 ハンセン病療養所附属保育所を生きて
 - 1 「本妙寺部落」狩り込みに遭う
 - 2 一歳のときに「湯之沢部落」解散
 - 3 今も残る「光田氏反応」の注射痕
 - 4 浮浪児に非ざるも浮浪状態に近し ほか



◆書物の時代の宗教——日本近世における神と仏の変遷

岸本 覚・曾根原 理編・A5判・263頁・3,080円〈勉誠出版〉

出版文化の発達により大きな転換を迎えた日本近世の宗教文化。仏神のイメージや宗教環境はどのように変化したのか。社会情勢や文化現象の中で揺れ動く、宗教と書物の関係を読み解く。

■目次

近世の書物と宗教文化
「大成経」と秘伝の世界
カミとホトケの系譜
近世社会と宗教儀礼



日本歴史民俗叢書

◆読み書きの民俗学

渡部圭一著・A5判・352頁・9,350円〈吉川弘文館〉

近世から近代の村落では、生活と一体化した読み書き実践が開花していた。神社由緒書や石造物、真宗聖教の読誦と出版、頭役祭祀の文書などを事例に、フィールドワークを駆使して、当時の読み書きの特質を体系的に論じる。

■目次

- 第1編 読み書き研究の課題
(読み書きの民俗誌の構想：課題としての読み書きと声)
第2編 由緒形成と読み書き(式内社由緒の形成と地域神職：競合する由緒と社会集団)
第3編 真宗聖教の読誦と出版(「もの」としての出版聖教—御文章：活字本の流布と唱和の声—正信偈：出版勤行集の戦後史一般若心経) ほか



◆怪異と妖怪のメディア史

——情報社会としての近世

村上紀夫著・四六判・242頁・2,640円〈創元社〉

怪異とは、怪異とみなされた情報であり、メディアによって媒介され、史料に記録される。近世の都市を対象に、髪切り、一目連、石塔磨きなどの記録を博捜し、メディア史的手法で近世怪異の新たな相貌を描く。

■目次

- 序章 メディア論としての「怪異」研究
第一章 「髪切り」—近世メディアがつくる怪異
第二章 「一目連」—情報の連鎖と拡大
第三章 「石塔磨き」の怪—近世都市の怪異とメディア
第四章 「雀合戦」—書状というメディア ほか



◆陰陽師とは何者か——うらない、まじない、こよみをつくる

国立歴史民俗博物館編・B5判・326頁・2,750円〈小さ子社〉

安倍晴明だけが陰陽師ではない。古代から近代にいたる陰陽師のあゆみ・いとなみを240点以上のカラー史料写真で紹介。各時代の陰陽師の姿、安倍晴明伝説の広がり、暦の文化の三部構成。

■目次

- 第1部 陰陽師のあしあと
- 第2部 安倍晴明のものがたり
- 第3部 暦とその文化

※2023年10月3日から12月10日に国立歴史民俗博物館で開催される同名展覧会の図録。



◆宗教の起源——私たちになぜ〈神〉が必要だったのか

ロビン・ダンバー著、小田 哲訳、長谷川眞理子解説・四六判・349頁・3,300円〈白揚社〉

ときに国家間の戦争を引き起こすほど人々の心に深く根ざした信仰心はなぜ生まれたのか? 「ダンバー数」で世界的に評価された著者が、人類学、心理学、神経科学など多彩な視点から「宗教とは何か」という根源的な問いに迫る。

■目次

- 第1章 宗教をどう研究するか
- 第2章 神秘志向
- 第3章 信じる者はなぜ救われるのか?
- 第4章 共同体と信者集団
- 第5章 社会的な脳と宗教的な心 ほか



◆現代思想 2023年10月号 特集=スピリチュアリティの現在

A5判・222頁・1,760円〈青土社〉

なぜ「救い」ではなく「癒し」なのか。近年、無宗教型スピリチュアル(SBNR)と呼ばれるライフスタイルが注目を集めている。「宗教からスピリチュアリティへ」という動向はたんなる宗教の世俗化・大衆化なのだろうか。新興宗教を含めた既存の宗教はその使命を終え、過去のものとなってしまうのか。スピリチュアリティをめぐる、今何かが起こりつつある。

■目次

総論

- スピリチュアリティの未来に向けて 島 蘭進
- スピリットの形態学ならびにその展開と帰趨 堀江宗正
- スピリチュアル化する社会
- 〈信〉を形作るもの
- 野辺にて ほか



◆宗教が変えた世界史

——ビフォーとアフターが一目でわかる

祝田秀全監修、かみゆ歴史編集部編・A5判・191頁・1,760円〈朝日新聞出版〉

世界史のなかでエポックメイキングになることが多い宗教関連の事件・出来事を豊富な資料で解説する一冊。宗教は人類史においてどんな役割を担い、どう歴史を変えてきたかをオールカラーで丁寧に読み解きます。

■目次

- 第1章 古代文明と宗教
- 第2章 ヨーロッパ
- 第3章 中東
- 第4章 インド
- 第5章 中国 ほか



◆ビジュアルでわかるはじめての〈宗教〉入門

——そもそもどうして、いつからあるの？

中村圭志著、カヤヒロヤ絵・四六判・178頁・1,672円〈河出書房新社〉

十字架、モスク、仏像、地獄絵から神話の神々まで、宗教絵画や彫刻には奥深いメッセージが込められている。日本ではなかなか実感しづらい「異文化理解」を目指した14歳からの宗教入門。

■目次

- 序章 人類は神や霊をどのように描いてきたか？
- 第1章 天地創造の神—旧約聖書とユダヤ教
- 第2章 救世主の物語—新約聖書とキリスト教
- 第3章 神の法と神秘—コーランとイスラム教
- 第4章 修行の宗教—お経と仏教 ほか



◆マンガ版 教養として学んでおきたい5大宗教

中村圭志・徳永サトシ著・新書判・220頁・1,100円〈マイナビ出版〉

世界の大宗教として、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教、ヒンドゥー教、仏教を取り上げた「教養として学んでおきたい5大宗教」をマンガ化。簡潔な解説でさまざまな宗教を比較して考察し、本質に切り込んだ宗教論を展開する。

■目次

- 第1章 ユダヤ教—民族の宗教
- 第2章 キリスト教—救世主の宗教
- 第3章 イスラム教—戒律の宗教
- 第4章 ヒンドゥー教—輪廻の宗教
- 第5章 仏教—悟りの宗教 ほか



◆書き込み式 ボールペン「歎異抄」練習帖

釈 徹宗監修、岡田崇花書・A5変判・127頁・1,320円〈河出書房新社〉

一日一語、意味を味わいながら書き写しましょう。心が揺れ動く時代に、自分の心と深く向き合うための智慧が説かれた、切れ味鋭い親鸞の名言28を厳選。穏やかに過ごすための法話も満載。

■目次

- その1 ただ信心を要とするべし
- その2 念仏にまざるべき善なきゆゑに
- その3 念仏して地獄におちたりとも、
さらに後悔すべからず候ふ ほか



◆書き込み式 ボールペン「般若心経」練習帖

枅野俊明監修、岡田崇花書・A5変判・142頁・1,320円〈河出書房新社〉

一日一行、心を込めて書き進めれば、一月後、悩みが自然と消えていく。ボールペン1本で気軽に始められ、ありがたい法話も充実。人気の禅僧・枅野師のお寺に納経できる写経用紙付！ 新装版。

■目次

- はじめに
- 般若心経とは？
- 写経とは？
- 般若心経 全文/現代語訳
- この本の使いかた
- 般若心経全文を書いてみよう
- 書き終えたら納経しよう



◆超訳 般若心経

——“すべて”の悩みが小さく見えてくる

境野勝悟著・B6判・245頁・1,430円〈三笠書房〉

般若心経には、“あらゆる悩み”を解消する知恵がつまっている。小さなことにとらわれず、毎日楽しく幸せに生きるためのヒントをわかりやすく“超訳”で解説。

■目次

- 1章 「こだわらない」 そして、自由になる
- 2章 「あるがまま」 置かれた場所で生き抜く
- 3章 「怒らない」 ものごとは軽く受け止めていく
- 4章 「損得抜き」 そうすれば“迷い”がなくなる
- 5章 「本来の自分」 “自分”をほとんど大事にする
- 6章 「生活の基本」 人生に“安心感”をつくる



◆ [増補版] 神道はなぜ教えないのか

島田裕巳著・四六判・223頁・1,760円〈育鵬社〉

日本人の生活に深くとけこんでいる神道には、開祖がおらず、教義や救済もない。宗教の枠におさまらない神道について、歴史的な経緯、イスラム教との類似点、仏教との深い結びつきなど、「ない」宗教としての本質に迫る。

■目次

- 第1章 「ない宗教」としての神道
- 第2章 もともとは神殿などなかった
- 第3章 岩と火—原初の信仰対象と閉じられた空間
- 第4章 日本の神道は創造神のない宗教である
- 第5章 神社の社殿はいつからあるのか ほか



◆ あの世界のお力借りてみな

——日本一「楽」を生きるお坊さんの開運説法

山平善清著・四六判・223頁・1,540円〈KADOKAWA〉

昔々、あるところに悟りを開こうと一心不乱一生懸命に修行をするお坊さんがいました。また別のところには私たちを救おうとくださっている神様の存在に気がついて有り難く救われることにしたお坊さんがいました。さて、2人のお坊さんはその後どうなったのでしょうか……？

■目次

- 序章 あの世界のお力って何？
- 第1章 身体・心・魂であの世界のお力お借りする
- 第2章 身体でお力お借りしてこの世の悩みを解消！
- 第3章 心でお力お借りして信じる気持ちを取り戻そう！
- 第4章 魂でお力お借りして「奇跡」を悟る



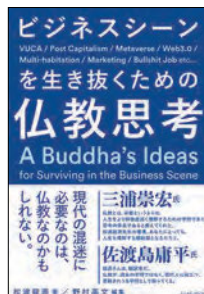
◆ ビジネスシーンを 生き抜くための仏教思考

松波龍源著・野村高文編・四六判・306頁・1,760円〈イースト・プレス〉

私たちが知っているようで知らない仏教のロジカルな思想と知識＝仏教思考を、現代の事象に照らし合わせながら解説。

■目次

- 第1部 現代社会の事象を仏教の視点から読み解くと
- 第2部 論理(ロジック)でわかる仏教の思考体系
- 第3部 仏教の視点を比較する



真宗教団連合法語カレンダー

◆月々のことば 2024(令和6年)

川添泰信・濱畑僚一・長尾重輝・藤川顕彰著・B6判・149頁・1,100円(本願寺出版社)

『法語カレンダー(2024年版)』の月々の法語のこころを川添泰信(龍谷大学名誉教授・司教)、濱畑僚一(行信教校講師)、長尾重輝(武蔵野大学講師)、藤川顕彰(本願寺派布教使)の各氏が分担執筆。『法語カレンダー』に選ばれた珠玉のお言葉のこころを、繰り返し味わっていただくことができる法味愛楽の書。

■目次

表紙のことば～3月のことば……川添 泰信
4月のことば～6月のことば……濱畑 僚一
7月のことば～9月のことば……長尾 重輝
10月のことば～12月のことば……藤川 顕彰



2024年 令和6年カレンダー法語解説冊子

◆心に響くことば (2024年版)

藤丸智雄著・新書判・92頁・154円(本願寺出版社)

浄土真宗のみ教えを味わうことのできる法語を掲げた『法語カレンダー(2024年版)』。その法語それぞれにやさしい法話を付した施本向きの小冊子。短編法話13編で構成されており、法語カレンダーをより深くあじわえる一冊。

■目次

【表紙】光明と名号がからみ合い妙なる音楽を奏でる
【1月】帰ってゆくべき世界は 今遇う光によって知らされる
【2月】念仏をはなれて仏もなく自分もない
【3月】南無阿弥陀仏が私の救われるしるしであり 証である ほか



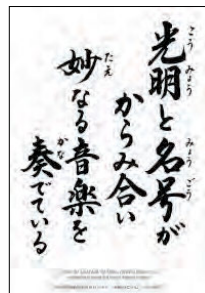
◆法語ポスター(法語カレンダー2024年版)

本願寺出版社制作・B3判(13枚一組・ビニール巻)・1,100円(本願寺出版社)

真宗教団連合「法語カレンダー」の法語がポスターに。
2024(令和6)年の法語カレンダーは「宗祖親鸞聖人に遇う」をテーマとした13法語が選ばれています。
寺院の掲示伝道等にご活用ください。

■目次

【表紙】光明と名号がからみ合い妙なる音楽を奏でる……青木新門
【1月】帰ってゆくべき世界は 今遇う光によって知らされる……浅井成海
【2月】念仏をはなれて仏もなく自分もない……金子大栄
【3月】南無阿弥陀仏が私の救われるしるしであり 証である……梯 實圓
【4月】まことに浄土真宗とは聞法がいのちであった……近田昭夫 ほか



◆近代京都と文化——「伝統」の再構

高木博志著・A5判・657頁・6,600円〈思文閣出版〉

「京舞妓」「貴族文化」……。これらの京都イメージは、政治的・社会的に創り出されたものだった。近代京都をめぐるさまざまな文化の歴史的淵源を探るとともに、既存の観光言説や「京都文化」論の相対化を試みる。

■目次

序(高木博志)

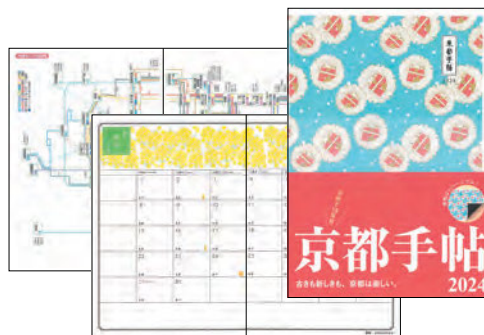
- I ロマン主義と花街
- II 日本主義と京都文化
- III 京都文化の相対化
- IV 地域社会と京都文化



◆京都手帖2024

光村推古書院編集部編・B6判・1,650円
〈光村推古書院〉

京都で年中開催されている伝統的な行事、社寺の情報、おいしいおやつ、ローカル情報、地図や路線図まで網羅。メモ帳たっぷり！ しかも軽量！ 暮らす人も、観光の人も、ただただ京都が好きだという人も、すべての京都好きにささげるスケジュール帳です。



京都手帖PRODUCE〈カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社〉

◆KYOTO MEMOPAD

《京都四季鳥瞰図》

イラスト:杉中真由美

10cm×10cm(4柄入り各30枚 120枚綴)・660円

めずらしい鳥瞰図のメモパッドです。
京都の四季が緻密なイラストで表現されています。
裏面は白紙なのでたっぷり書けます。



◆百人一首 一筆箋

イラスト:よしのぶもとこ

17cm×8.4cm(20柄入り各2枚 40枚綴)・1,100円

百人一首の1～20句がイラストとともに楽しめる、豪華な一筆箋です。各2枚入り。
ちょっと一筆添えたい時にぴったりです。



◆仏像版画と仏のことば——心ゆたかに生きる知恵

藤森萬年著・A5判・223頁・2,420円〈日貿出版社〉

著者が半世紀にわたって制作してきた、仏像の年賀状。温もりある木版画で表現された東大寺、興福寺、薬師寺などの国宝・重要文化財の仏像約60点をまとめた。最終章には、随想「仏教に学ぶ生きる知恵」も収録。

■目次

- 第一章 年賀状 木版画
- 第二章 仏像版画 制作手順
- 第三章 八切り版 仏像木版画
- 第四章 仏教に学ぶ生きる知恵



隔週刊古寺行こう

A4変判・42頁・各770円〈小学館〉

◆横蔵寺 願成就院と東海の名刹 39

◆瑞巖寺 勝常寺とみちのくの名刹 40

横蔵寺 願成就院と東海の名刹 39……天台宗の開祖である最澄が平安時代に創建の伝承が残り、多数の寺宝を有する横蔵寺、鎌倉幕府初代執権・北条義時が開き、国宝の運慶作の希少な仏像5体を大御堂に安置する願成就院をはじめとする仏像、名庭の魅力あふれる東海の名刹を紹介。

瑞巖寺 勝常寺とみちのくの名刹 40……伊達政宗の菩提寺・瑞巖寺。名僧・徳一が開いた会津の古刹・勝常寺をはじめ、6か寺をご紹介します。



法蔵館書店新着雑誌案内

◆同朋 11月号

〈東本願寺出版〉

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・400円

生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

- ◎インタビュー ブレイディみかこさん
(ライター・コラムニスト)
「すべてにYES」。世界はここから変えられる。
- ◎特集 アートと信仰—宗教の「荘厳」な世界
[対談]長岡龍作×伊藤真希
教えを求める人々の思いが、
仏教美術の歴史に現れている ほか

◆大乘 11月号

〈本願寺出版社〉

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。

■目次

- ・釈徹宗の随縁探訪……ゲスト:梅高賢正さん
- ・DAIJO法話 「ご恩を知る」……米田順昭
- ・ご機言! お寺の掲示板……江田智昭
- ・報恩講アーカイブス
「生かされる世界—親鸞聖人の特色—」
稲城選恵 ほか

特集1 報恩講にむけて

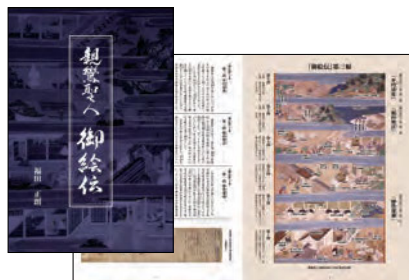
本年も報恩講の季節がやってきました。関連本をご紹介します。

親鸞聖人 御絵伝

福田正朗編著・A4変判・16頁・550円
ISBN:978-4-8318-8714-6

4刷

真宗寺院で報恩講の際に掲げられる親鸞聖人の生涯を描いた「御絵伝」。そこに何が描かれているのかをA4判オールカラーでわかりやすく解説した冊子。
〈法蔵館〉



「御絵伝」の絵解き

鎌田宗雲著・A5判・114頁・1,650円〈永田文昌堂〉

『御伝鈔』と「御絵伝」の基礎知識及び、「御絵伝」の第一幅から四幅までの内容を、各々絵に対応させわかりやすく解説する。



はじめてふれる親鸞聖人伝絵 (御伝鈔・御絵伝)

沙加戸 弘著・B5判・103頁・1,650円〈東本願寺出版〉

本書は、絵巻物『親鸞伝絵』に従って本文と絵を順番どおり交互に掲載しております。特に絵においては、『親鸞伝絵』に造詣の深い沙加戸弘大谷名誉教授による詳細な説明・解説を1場面ずつに掲載し、さらに本文には沙加戸氏による親しみやすい試訳(現代語訳)を付けています。



親鸞聖人と報恩講

名古屋御坊編集部編・A5判・70頁・800円〈真宗大谷派名古屋別院〉

『名古屋御坊』新聞掲載記事を再編集したものです。「親鸞聖人」と「報恩講」について、わかりやすくまとめられた一冊です。発売以来、法蔵館書店店頭でも多くのお客様に手に取っていただいております。



2022年安居次講

『親鸞聖人伝絵』考察

東館紹見著・A5判・180頁・4,400円〈東本願寺出版〉

「伝絵」の著者・覚如上人の生涯から、「伝絵」の構成と諸本の特徴、制作の意図などを考察する。



聖典セミナー 親鸞聖人絵伝

平松令三著・A5判・316頁・3,520円〈本願寺出版社〉

親鸞聖人の絵伝は、本願寺第三代覚如宗主の詞書に絵画を加えた巻物で、後代絵画は四幅の絵伝となり、詞書きは『御伝鈔』となった。本書では、斯界の権威である著者によって、近年の研究動向をとり入れ、新しい観点からの考察もなされている。



御伝鈔 御俗姓(現代語版)

浄土真宗本願寺派総合研究編・B6判・167頁・1,100円〈本願寺出版社〉

親鸞聖人のご事蹟や浄土真宗の肝要が記された聖典の、わかりやすい現代語版。充実した脚註や巻末註、関連年表・史蹟略図が本文の理解を助ける。付録として、絵巻物の図絵部分にあたる「御絵伝」を図解付きで解説。

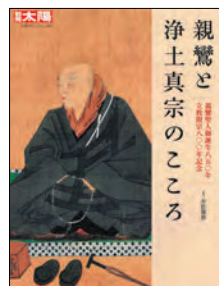


【別冊太陽】親鸞と浄土真宗のころ

親鸞聖人御誕生八五〇年 立教開宗八〇〇年記念

赤松徹眞監修・A4変判・159頁・2,860円〈平凡社〉

親鸞聖人の生誕850年にあたり、その生涯と教えを豊富なビジュアルと識者による解説でとり、浄土真宗の寺院に伝わる仏像、絵画など貴重な名品を紹介する。



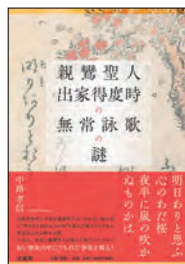
特集2 親鸞聖人のご生涯

本年は親鸞聖人御誕生850年、立教開宗800年の記念すべき年です。
親鸞聖人に関する本をご紹介します。

◆親鸞聖人出家得度時の 無常詠歌の謎

中路孝信著・四六判・138頁・1,650円・ISBN:978-4-8318-8783-2(法蔵館)

出家得度時に親鸞聖人が“はかない桜の花”に“明日をも知れぬ人の命”を重ねて詠んだとされる歌。それは本当に親鸞聖人の歌なのか？



◆親鸞聖人の一生

今井雅晴著・四六判・226頁・2,200円(自照社)

800年の昔、人々とともにお念仏のみ教えに生き、今も私たちを導きつづける浄土真宗の宗祖・親鸞聖人。その出会いと別れ、苦悩、葛藤、そしてよろこびに彩られた90年のご生涯をしのぶ。



◆親鸞——尊厳・平等の念仏

芳滝智仁・武田達城著・A5判・92頁・1,100円(阿吽社)

親鸞の念仏は本願寺ではなく、勅命講和に反対した「末々の門徒」から被差別部落の門徒に受け継がれ、西光万吉に代表される水平社の人々に昇華された——親鸞の念仏と被差別部落起源論などを考察する問題提起の書。



読みなおす日本史

◆親鸞——煩惱具足のほとけ

笠原一男著・四六判・246頁・2,420円(吉川弘文館)

鎌倉時代、阿弥陀仏への信心のもと、念仏一つで個人も社会もすべてが救われると説いた親鸞。激動の世でいかに行動し、どう思索して生きたのか。当時の社会を背景に、煩惱に苦しむ人びとへ全生涯をささげた姿を描く。



お知らせ

バーゲンブックワゴン登場

法蔵館書店店頭ワゴンにてバーゲンブックの常設販売を始めました！
仏教書だけでなく実用書などをメインにご用意して、本体価格の半額で販売しております。
商品は定期的に入れ替えておりますのでぜひ掘り出し物を探しにいらしてください。



板木蔵見学の開催

日時…11月25日(土) 1回目:14時～ 2回目:15時～ 3回目:16時～
場所…法蔵館 ※見学を希望の方は店頭でお申し出ください。

「板木」の関連本紹介

近世出版の板木研究

金子貴昭著・A5判・318頁・8,250円・ISBN:978-4-8318-6223-5

印刷の道具だけではなく、版権の所在をも示す板木。その基本構造を解明し、板木の新たな観察手法を提示。板木書誌学を初めて提唱。



近世仏書の文化史

——西本願寺教団の出版メディア

万波寿子著・A5判・448頁・8,250円・ISBN:978-4-8318-6238-9

近世期の出版物のうち圧倒的多数を占める仏書から、近世仏教の実像や当時の出版制度、本屋と寺院の関係等を解明する意欲的論考。



秋の本まつり開催

期間…11月26日(日)・27日(月)・28日(火)
場所…法蔵館

様々な書籍が並びますのでこの機会をお見逃しなく！

今後の詳細情報は営業部X(旧Twitter)、facebook等のSNSにて発信いたします。



◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(10月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	住職必携—真宗大谷派儀式作法	大谷制以知	法藏館	2,860円
2	親鸞聖人と報恩講	名古屋御坊 編集部編	真宗大谷派 名古屋別院	800円
3	【教行信証化身土巻講義】親鸞の出遇った世界 浄土真宗Ⅲ	平野 修述/平野修師 講義集/編集実行委員会編	真宗大谷派 大阪教務所	2,530円
4	親鸞聖人の一生	今井雅晴	自照社	2,200円
5	【帰京後の親鸞—明日にともしびを8】八十歳の親鸞—造悪無碍	今井雅晴	自照社	1,100円
6	終活と宗活【伝道ブックス88】	雲井一久	東本願寺出版	330円
7	正信偈講義Ⅱ	藤場俊基	サンガ伝道叢書	1,100円
8	浄土論註講義Ⅱ	藤場俊基	サンガ伝道叢書	1,100円
9	【NHK宗教の時間】 鈴木大拙願行に生きる(下)—その生涯と西田幾多郎との交遊	竹村牧男	NHK出版	1,080円
10	唯識—これだけは知りたい	加藤朝胤監修 船山 徹・石垣明貴紀著	法藏館	1,650円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<http://www.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。
店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。

◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料—450円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料

◆価格表示は全て税込価格です。

法藏館書店 友の会会員募集中!

友の会に入会すると、割引や来店特典など多数の特典をご用意しております。

仏教書友の会

検索





法藏館書店

住 所: 〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
電 話: 075-343-0458 FAX: 075-371-0458
発行人: 西村明高
E-mail: shop@hozokan.co.jp

<http://www.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



— [営業日および営業時間] —

月～土: 9:30～18:00

祝 日: 10:30～18:00

(休業日: 毎週日曜日・お盆・年末年始)

法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!



facebook

つぶやき中～!

法蔵館文庫

◆法然とその時代

【日本史／仏教史】

田村圓澄著、坪井 剛解説・文庫判・256頁・1,320円
ISBN:978-4-8318-2655-8

否定を媒介とする法然の廻心を基軸に、人間の魂の遍歴を普遍化することで、歴史研究の成果を「人間」理解一般にまで昇華させた労作。

■目次

日本の浄土教
法然とその教団
鎌倉新仏教の人々
歴史と宗教 ほか

ためし読み



◆風水講義

【中国思想】

三浦國雄著・文庫判・336頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-2656-5

東アジアの生活空間に広く浸透する「風水」とは何か。その思想的基盤や原理的仕組みを、原典に基づきつつ解明する、恰好の案内書。

■目次

第一講 風水とはなにか
第二講 儒教風水のスタンス
——『地理人子須知』というテキスト
第三講 三本の大龍脈
第四講 都市と龍脈
第五講 風水説の仕組み——龍法 ほか

ためし読み



◆祭儀と注釈——中世における古代神話

【歴史／民俗】

桜井好朗著、星 優也解説・文庫判・400頁・1,540円
ISBN:978-4-8318-2657-2

神話はいかに変容したのか。注釈が中世神話を創出し、王権—国家の起源を新たに形成。中世芸能世界の成立をも読解した、記念碑的一冊。

■目次

はじめに——中世における古代
Ⅰ 王権-国家の神話と祭儀
Ⅱ 儀礼国家の形成
Ⅲ 注釈における中世の発現
おわりに——王権伝承と芸能

ためし読み

